

令和6年12月11日

報道関係各位

佐倉市企画政策部広報課

情報提供について

平素より当市の広報に多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございます。
下記のとおり情報提供いたしますので、よろしくお願いいたします。

記

2024年佐倉市10大ニュースについて

本市における本年の主要な出来事を別紙のとおり発表いたします。

【本件へのお問い合わせ】

佐倉市役所 企画政策部 広報課（担当：湖島）
TEL：043-484-6101 FAX：043-486-8720

この情報提供は、各社にファクス送信しました。[送付枚数 4 枚（本票含む）]

【送信元】佐倉市役所 企画政策部 広報課 TEL：043-484-6101／FAX：043-486-8720

2024 佐倉市 10 大ニュース

令和 6 年 12 月
(順不同)

■ 佐倉草ぶえの丘 開園 45 年の節目に来園者 500 万人突破！ (1 月 27 日)

佐倉草ぶえの丘が、開園 45 年の節目に来園者 500 万人を達成しました。「緑豊かな自然の中での農業体験や、生き物とのふれあいを通じて、子どもたちに豊かな人間性を育んでほしい」とのコンセプトで、昭和 54 年に開園した同園は、人気を博したヤギ「ポニヨ」や、その子ども「佐助」「草助」を一目見ようとする来園者で現在も賑わっています。

今後も魅力あるイベントや施設の充実を図り、皆さまに愛される施設を目指していきます。

■ 県内初となる佐倉市気候変動適応センター設置 (4 月 1 日)

地球温暖化の進行に伴い、深刻化が懸念される気候変動への対策を進めていくため、県内市町村で初となる「佐倉市気候変動適応センター」を設置し、「佐倉市気候変動対策行動計画」を策定しました。

市民の皆さんの安全な暮らしを守り、安心して暮らせるまちづくりのために、さまざまな機関と連携しながら、気候変動に対する市民意識の醸成、緩和と適応などの取り組みを続けてまいります。

■ 佐倉にルーツを持つ「津田 梅子」が肖像に選ばれた新 5 千円札が発行開始！

(7 月 3 日)

日本で初めて海外に留学した女性の 1 人であり、現在の「津田塾大学」の創立者である津田梅子は、佐倉藩出身の父・津田仙の娘であり、佐倉にルーツを持っています。

津田梅子は日本における女子高等教育の先駆者として、約 20 年ぶりに改刷された新五千円札の『顔』に選ばれました。

■ 能登半島地震に係る職員派遣&報告会 (7 月 13 日)

今年 1 月に発生した「令和 6 年能登半島地震」により甚大な被害を受けた被災地を支援するため、避難所運営支援、住家被害認定などの業務のために合計 25 名の職員を被災地へ派遣しました。

7 月 13 日には佐倉ハーモニーホールで、被災地応援業務報告会を実施しました。現地での支援活動に従事した職員の体験や、佐倉市の災害対策の現状について市民の皆さんへ報告しました。

■ 佐倉で才能が開花する

パリ 2024 パラリンピックに佐倉市ゆかりの 2 選手が出場！（8 月 28 日～）

今年 8 月 28 日から開催されたパリ 2024 パラリンピックに、佐倉市在住の山崎晃裕（やまざきあきひろ）選手（陸上競技・やり投げ）と、松本卓巳（まつもとたくみ）選手（バドミントン）の 2 選手が出場しました。山崎選手は 7 位で、東京 2020 パラリンピックに続き 2 大会連続の入賞、松本選手は初出場ながらダブルス（WH1-WH2）で 4 位、シングルス（WH2）で 5 位の成績を収めました。

■ 城下町佐倉絵図集成 刊行（10 月 30 日）

佐倉市市制施行 70 周年を記念して、佐倉城を描いた絵図を多数掲載した『城下町佐倉絵図集成』を刊行しました。

佐倉は房総最大の藩として発展してきたことから、佐倉城とその城下を描く「絵図」が多く残っている一方で、佐倉城は城主の入れ替わりが多く史料が全国各地に分散していたこともあって、これをまとめるのが難しい状況にありました。そこで、佐倉市ではこうした絵図の調査・研究を進め、新たに発見された絵図を含む全国各地の絵図、古写真などの図版を冊子にまとめて採録しました。

価格は 1,500 円（税込）、販売場所は市内各出張所や夢咲くら館などで、郵送による販売も行っております。

■ 佐倉城下町を利用した社会実験「タマルバ」実施（11 月 16 日-17 日）

令和 6 年度に策定した「佐倉城下町エリアビジョン」に基づき、目的地づくりと回遊性向上を目的とした大規模な社会実験を行いました。佐倉の城下町エリア周辺に設置された 9 つの会場に、2 日間で延べ 120 組を超える出店者が集まり、様々なイベントを行いました。

■ 佐倉市立美術館開館 30 周年&来館者 200 万人同日達成！（11 月 16 日）

平成 6 年に開館した佐倉市立美術館が開館 30 周年を迎え、開館記念日である 11 月 16 日に来館者 200 万人を達成しました。市立美術館は、これからも市民の皆さんに親しみを持って芸術作品に触れてもらえるよう、今後も地域に根差した美術館を目指し、様々な取り組みを行っていきます。

■ 民間などの事業主体との連携を推進！

- ウエルシア薬局株式会社（地域福祉の推進等に関する連携協定）：1 月 18 日
- 佐倉高校、佐倉東高校、佐倉西高校、佐倉南高校、印旛特別支援学校さくら分校（市内 5 校の千葉県立高等学校等との包括連携協定）：2 月 8 日
- 千葉県弁護士会（災害時の法律相談等に関する協定）：2 月 14 日
- 株式会社みなも、独立行政法人都市再生機構、千葉市、八千代市（千葉うみさとラインのブランディングに関する連携協定）：2 月 15 日
- 学校法人青山学院（包括連携協定）：4 月 15 日
- 佐倉市キッチンカー露店販売協会（災害時におけるキッチンカーによる物資の提供等に関する協定）：6 月 18 日
- 世紀東急工業株式会社（災害時における建設資材の提供に関する協定）：8 月 2 日
- ホテル日航成田、潮来市、香取市（成田国際空港を核とした、魅力増進に係る試験的取組に関する覚書）：8 月 28 日

■ 佐倉市市制施行 70 周年を記念した様々なイベントを実施&

佐倉市を PR する大使を任命

- ロゴマーク・キャッチフレーズ・イメージキャラクターを市内在住の児童生徒が考案
- 「Enjoy! SAKURA 春フェス」を佐倉城址公園で開催（3 月 30 日）
- 佐倉青春文化祭（10 月 19 日、27 日）、佐倉市市制施行 70 周年記念式典（10 月 27 日）
- 式典と同日に行われた「佐倉 PR 大使任命式」にて、8 名の佐倉 PR 大使を任命
 - 映画監督・上村奈帆さんの自身初の商業映画「三日月とネコ」公開を記念して表敬訪問（5 月 8 日）
 - ミュージカル女優・熊谷彩春さんが佐倉ハーモニーホールで初の凱旋公演（5 月 26 日）
 - ピアニスト・田部京子さんが 70 周年&佐倉ハーモニーホール開館 40 周年を記念してピアノリサイタルを開催（11 月 3 日）